

V 経営の効率化

両市立病院が良質な医療を継続的に提供していくためには、経営の健全化が不可欠であり、収入の増加・確保や経費の削減・抑制の対策に取り組み、「病床利用率」や「職員給与費対医業収益比率」など主要な経営指標の達成を目指します。

また、医師の待遇改善を行うなど人材の確保を図り、安定的な経営に努めます。

1 取組事項

(1) 収入増加・確保

取組項目	取組内容																																					
DPC(診断群分類)包括評価支払の導入	青葉病院では平成21年度にDPC包括評価支払の導入を目指し、収益増(156, 000千円)を図ります。 また、海浜病院では平成22年度からDPC準備病院として参加し、対象病院を目指します。																																					
施設基準の届出の見直し	平成20年度には、両病院でハイリスク妊娠管理加算、妊産婦緊急搬送入院加算、医師事務作業補助体制加算などの施設基準を新たに取得し、青葉病院で53, 445千円、海浜病院で25, 787千円の増収見込みとなっています。 また、7:1看護配置基準の取得を目指し、より手厚い看護の提供や診療報酬を確保し医業収益の増加を図ります。 【7:1看護配置基準】 ・施設基準に必要となる看護師数 青葉病院 32人 海浜病院 26人 ・増収見込み額 青葉病院 226, 802千円 海浜病院 217, 795千円																																					
地域医療機関との機能分担と連携強化	病診連携を一層強化し、紹介率の向上や逆紹介を推進することで、救急医療や高度・専門医療に積極的に取り組み、地域医療機関との機能分担を図ります。 【目標値】 <table><tr><td></td><td></td><td>20年度</td><td></td><td>21年度</td><td></td><td>22年度</td><td></td><td>23年度</td></tr><tr><td rowspan="2">青葉病院</td><td>紹介率</td><td>46. 7%</td><td rowspan="2">→</td><td>47. 8%</td><td rowspan="2">→</td><td>48. 9%</td><td rowspan="2">→</td><td>50. 0%</td></tr><tr><td>逆紹介率</td><td>25. 0%</td><td>26. 6%</td><td>28. 2%</td><td>30. 0%</td></tr><tr><td rowspan="2">海浜病院</td><td>紹介率</td><td>33. 0%</td><td rowspan="2">→</td><td>34. 0%</td><td rowspan="2">→</td><td>35. 0%</td><td rowspan="2">→</td><td>36. 0%</td></tr><tr><td>逆紹介率</td><td>29. 0%</td><td>31. 0%</td><td>32. 0%</td><td>35. 0%</td></tr></table> ※ 20年度は12月末時点			20年度		21年度		22年度		23年度	青葉病院	紹介率	46. 7%	→	47. 8%	→	48. 9%	→	50. 0%	逆紹介率	25. 0%	26. 6%	28. 2%	30. 0%	海浜病院	紹介率	33. 0%	→	34. 0%	→	35. 0%	→	36. 0%	逆紹介率	29. 0%	31. 0%	32. 0%	35. 0%
		20年度		21年度		22年度		23年度																														
青葉病院	紹介率	46. 7%	→	47. 8%	→	48. 9%	→	50. 0%																														
	逆紹介率	25. 0%		26. 6%		28. 2%		30. 0%																														
海浜病院	紹介率	33. 0%	→	34. 0%	→	35. 0%	→	36. 0%																														
	逆紹介率	29. 0%		31. 0%		32. 0%		35. 0%																														
未収金の縮減	両病院共通の医業未収金マニュアルの効果的運用やクレジットカード決済導入により未収金の発生予防や回収に取り組みます。 また、平成21年度以降は、体制の強化について検討します。																																					
使用料等の見直し	分娩料や非紹介患者初診加算料など料金について見直しを行います。																																					

(2) 経費節減・抑制

取組項目	取組内容																											
SPD(物品管理システム)の導入及び拡充	青葉病院では、平成21年にSPD(物品管理システム)の機能拡充を行い、42,681千円の経費節減を図ります。 また、海浜病院では、SPDの導入準備を進め、診療材料の効率的運用を行い、経費の節減を図ります。																											
後発医薬品(ジェネリック薬品)の使用の拡大	医療費負担の軽減が期待できる後発医薬品(ジェネリック薬品)について、使用薬品の拡大を図り経費の節減に努めます。なお、平成20年度は、後発医薬品の採用品目を増やすことで、両病院で7,061千円の薬品費が削減できる見込となっています。 【目標値】 <table><tr><td></td><td></td><td>20年度</td><td></td><td>21年度</td><td></td><td>22年度</td><td></td><td>23年度</td></tr><tr><td>青葉病院</td><td>品目数比率</td><td>8.5%</td><td>→</td><td>10.2%</td><td>→</td><td>12.7%</td><td>→</td><td>15.5%</td></tr><tr><td>海浜病院</td><td>品目数比率</td><td>7.7%</td><td></td><td>10.8%</td><td></td><td>13.3%</td><td></td><td>15.8%</td></tr></table> ※ 20年度は12月末時点			20年度		21年度		22年度		23年度	青葉病院	品目数比率	8.5%	→	10.2%	→	12.7%	→	15.5%	海浜病院	品目数比率	7.7%		10.8%		13.3%		15.8%
		20年度		21年度		22年度		23年度																				
青葉病院	品目数比率	8.5%	→	10.2%	→	12.7%	→	15.5%																				
海浜病院	品目数比率	7.7%		10.8%		13.3%		15.8%																				

(3) その他

取組項目	取組内容
臨床研修の実施	管理型・協力型の臨床研修病院として卒後臨床研修を受け入れるとともに、卒後3年目以降の医師を対象とした後期臨床研修を行うことにより、病院における医療の質の向上や勤務医としての定着促進を図ります。
医師の待遇改善	救急医や産科医の待遇の改善について検討するとともに、医師の時間外の勤務の適正な評価を行います。
クリニカルパスの推進	病院情報システムの導入により患者情報を共有化し、クリニカルパスの推進を図ります。 また、青葉病院に導入するDPCの効果的な運用につなげます。
外来待ち時間の短縮 (海浜病院)	病院情報システムの導入等により、外来待ち時間の短縮を図ります。

2 主要指標

①青葉病院

区分	21 年度	22 年度	23 年度
病床利用率（全体）	77.6%	78.4%	79.2%
病床利用率（一般）	80.0%	80.5%	81.0%
入院診療単価（一般）	44,751 円	45,474 円	46,188 円
外来一日平均患者数	820 人	835 人	850 人
外来診療単価	7,769 円	7,769 円	7,769 円
経常収支比率	100.2%	100.2%	100.2%
医業収支比率	76.2%	76.9%	78.3%
職員給与費比率	60.4%	59.3%	58.1%
平均在院日数（一般）	11.2 日	11.1 日	11.0 日

②海浜病院

区分	21 年度	22 年度	23 年度
病床利用率	80.0%	80.5%	81.0%
入院診療単価	46,389 円	47,500 円	48,000 円
外来一日平均患者数	618 人	618 人	618 人
外来診療単価	8,588 円	8,588 円	8,588 円
経常収支比率	100.1%	100.1%	100.1%
医業収支比率	83.6%	83.8%	84.4%
職員給与費比率	60.3%	60.3%	59.4%
平均在院日数	13.6 日	13.6 日	13.6 日

$$\text{経常収支比率（\%）} = \frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$$

$$\text{医業収支比率（\%）} = \frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$$

$$\text{職員給与費比率（\%）} = \frac{\text{職員給与費}}{\text{医業収益}} \times 100$$

3 収支計画

ア 青葉病院

①収益的収支

(単位:百万円)

年度		18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度	22年度	23年度
区分							
収 入	1. 医 業 収 益	6,360	6,206	6,410	6,617	6,742	6,890
	(1) 料 金 収 入	5,675	5,456	5,694	5,875	5,999	6,147
	1 入 院 収 益	4,197	4,003	4,158	4,333	4,423	4,536
	2 外 来 収 益	1,478	1,453	1,536	1,542	1,576	1,611
	(2) そ の 他	685	750	716	742	742	742
	う ち 他 会 計 負 担 金	532	595	558	579	579	579
	2. 医 業 外 収 益	2,583	2,597	2,324	2,595	2,544	2,412
	(1) 他 会 計 負 担 金 ・ 補 助 金	2,522	2,536	2,256	2,515	2,461	2,324
	(2) 国 (県) 補 助 金	13	9	10	19	19	19
	(3) そ の 他	47	51	58	61	65	69
経 常 収 益 (A)		8,943	8,803	8,734	9,212	9,286	9,302
支 出	1. 医 業 費 用	8,376	8,387	8,501	8,679	8,767	8,796
	(1) 職 員 給 与 費	3,633	3,686	3,723	4,000	4,000	4,000
	(2) 材 料 費	1,468	1,424	1,525	1,542	1,575	1,613
	(3) 経 費	1,863	1,874	1,922	2,018	2,168	2,177
	(4) 減 価 償 却 費	1,393	1,383	1,311	1,088	995	976
	(5) そ の 他	19	20	22	30	30	30
	2. 医 業 外 費 用	1,027	1,003	666	518	504	491
	(1) 支 払 利 息	459	448	430	419	404	391
	(2) そ の 他	568	554	236	99	100	100
	経 常 費 用 (B)	9,403	9,390	9,168	9,197	9,271	9,287
経 常 損 益 (A)-(B) (C)		△ 460	△ 587	△ 433	15	15	15
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	3	1	1	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	10	23	20	15	15	15
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	△ 7	△ 22	△ 19	△ 15	△ 15	△ 15
純 損 益 (C)+(F)		△ 467	△ 609	△ 452	0	0	0
累 積 欠 損 金		△ 467	△ 1,077	△ 1,529	△ 1,528	△ 1,528	△ 1,528

繰 入 金 合 計 (再 掲)	3,054	3,131	2,813	3,094	3,039	2,903
-------------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

②資本的収支

(単位:百万円)

年度		18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度	22年度	23年度
区分							
資 本 的 収 入	1. 企 業 債	280	87	155	113	177	594
	2. 他 会 計 繰 入 金	0	0	0	0	484	490
	3. そ の 他	0	0	0	0	0	0
	計 (A)	280	87	155	113	661	1,084
	(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (B)	0	0	0	0	0	0
	純 計 (A)-(B) (C)	280	87	155	113	661	1,084
資 本 的 支 出	1. 建 設 改 良 費	310	65	48	115	177	594
	2. 企 業 債 償 還 金	1,449	1,448	883	920	968	980
	3. そ の 他	6	34	110	19	0	0
	計 (D)	1,765	1,547	1,041	1,054	1,145	1,574
資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (D)-(C) (E)		1,485	1,460	886	941	484	490
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	1,485	1,460	886	941	484	490
	2. そ の 他	0	0	0	0	0	0
	計 (F)	1,485	1,460	886	941	484	490
補 て ん 財 源 不 足 額 (E)-(F)		0	0	0	0	0	0
積 立 金 現 在 高		0	0	0	0	0	0
企 業 債 現 在 高		24,632	23,271	22,543	21,736	20,945	20,559

イ 海浜病院

①収益的収支

(単位: 百万円)

年度		18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度	22年度	23年度
区分							
収入	1. 医 業 収 益	6,120	5,629	5,803	6,193	6,304	6,390
	(1) 料 金 収 入	5,481	5,035	5,224	5,538	5,649	5,734
	1 入 院 収 益	3,922	3,515	3,772	4,097	4,203	4,283
	2 外 来 収 益	1,560	1,520	1,451	1,441	1,446	1,451
	(2) そ の 他	638	593	580	655	655	655
	う ち 他 会 計 負 担 金	565	523	509	580	580	580
	2. 医 業 外 収 益	874	1,046	939	1,325	1,328	1,297
	(1) 他 会 計 負 担 金 ・ 補 助 金	850	1,028	910	1,302	1,310	1,282
	(2) 国 (県) 補 助 金	2	3	7	6	6	6
	(3) そ の 他	22	15	23	17	12	9
支出	経 常 収 益 (A)	6,993	6,675	6,743	7,518	7,632	7,687
	1. 医 業 費 用	6,753	6,609	6,703	7,408	7,522	7,575
	(1) 職 員 給 与 費	3,555	3,500	3,489	3,734	3,801	3,801
	(2) 材 料 費	1,312	1,240	1,295	1,361	1,385	1,406
	(3) 経 費	1,527	1,482	1,531	1,931	1,950	1,970
	(4) 減 価 償 却 費	340	350	366	361	365	376
	(5) そ の 他	19	37	22	22	22	22
	2. 医 業 外 費 用	310	307	212	100	100	102
	(1) 支 払 利 息	159	146	38	40	40	42
	(2) そ の 他	151	161	174	60	60	60
経常損益	経 常 費 用 (B)	7,063	6,916	6,915	7,508	7,622	7,677
	経 常 損 益 (A)-(B) (C)	△ 70	△ 241	△ 172	10	10	10
	1. 特 別 利 益 (D)	5	0	2	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	16	15	25	10	10	10
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	△ 11	△ 14	△ 23	△ 10	△ 10	△ 10
	純 損 益 (C)+(F)	△ 81	△ 256	△ 195	0	0	0
	累 積 欠 損 金	△ 81	△ 336	△ 531	△ 531	△ 531	△ 531
	繰 入 金 合 計 (再 掲)	1,415	1,550	1,419	1,882	1,890	1,862

②資本的収支

年度		18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度	22年度	23年度
区分							
資本的収入	1. 企 業 債	353	478	305	350	364	364
	2. 他 会 計 繰 入 金	0	0	0	0	323	333
	3. そ の 他	0	0	2	0	0	0
	計 (A)	353	478	307	350	687	697
	(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (B)	0	0	0	0	0	0
	純 計 (A)-(B) (C)	353	478	307	350	687	697
資本的支出	1. 建 設 改 良 費	368	513	309	353	353	353
	2. 企 業 債 償 還 金	463	463	591	623	646	666
	3. そ の 他	39	88	56	12	12	12
	計 (D)	870	1,063	956	987	1,010	1,030
資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (D)-(C) (E)		517	585	649	637	323	333
補てん財源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	517	585	649	637	323	333
	2. そ の 他	0	0	0	0	0	0
	計 (F)	517	585	649	637	323	333
補てん財源不足額 (E)-(F)		0	0	0	0	0	0
積立金現在高		0	0	0	0	0	0
企業債現在高		3,112	3,127	2,841	2,569	2,287	1,985